



会報
41号

ながおか

デザイン 池田満寿夫

発行人 五十嵐 立男
編集長 峯村 清志

3月末現在賛助会員数 長野地区 517人、 県全体 3,234人

長野地区賛助会定期総会

日時 5月 11日 (水) 13:30 開会

会場 長野合同庁舎 別館 2階



2016 七年に一度の大祭 諸國大社 御柱祭り「木落し」の圧巻を特別観覧席から眺望する

平成 28 年度 定期総会次第

定期総会 別館 2 階 1:30 開会 各グループ 3 名以上のご参加を呼び掛けて下さい。

会長挨拶 来賓紹介 来賓祝辞 議長選出 議事に入る

議 事 ①平成 27 年度事業&収支決算の承認 ②28 年度事業計画案&収支予算案

③平成 28 年度役員承認 ④その他 続いて記念講演に入る

記念講演 「演題 腰痛予防&転倒予防」実践講座

長野県立総合リハビリテーションセンター

医療技術専門員 竹村久美子さま 理学療法士 吉田奈津美さま

※実践講座ですので、実技が伴います、その積りで参加願います。

『紹介』 松本地区賛助会 会員増への取り組み (平成27年12月末現在)

長野県10地区賛助会連絡協議会で賛助会員増に効果を挙げている「松本支部」の取り組みが紹介された、「長野地区賛助会」でも、大いに活用して頂く資料として掲載した。

長野&松本支部別賛助会員活動グループの現況 (県下10支部連絡協議会資料)

支部名	賛助会員実数(活動会員)	グループ数	
長野支部	292	24	
松本支部	555	46	長野支部と松本支部間に、賛助会員実数とグループ数に大きな差があり注目に値します。

松本学部シニア大年2年生240人中の95%が松本地区賛助会員として入会した、グループ数も46ある。一体どんな取り組みをしたら、このような素晴らしい結果をもたらすのかを検証してみたい。

具体的な取り組み	<p>1、シニア大学松本学部の講座に「賛助会について」の特別時間を設定している。 •会長・活動サポーター・グループ長がそれぞれの立場から加入等を呼びかける。 •会場内に全グループの活動状況を写真付きで掲示している。</p> <p>2、1月&2月の講座日 午前と午後の講座前3~5分程、会長が入会等をPRする。</p> <p>3、主要な行事の総会&三世帯文化交流大会には「自治会長」・関係者を招待する。</p> <p>4、グループ長は自分たちのグループへの加入と賛助会員取り組みに一生懸命になる。</p> <p>5、「松本地区賛助会」の役目を明確にして、加入に繋げるよう行動する。 •シニア大学在学中は勿論、卒業後も何かと支援をしていく。</p> <p>6、活動の発表の場をつくり、シニア大2年生には会報を4回無料配布する。</p>
主な課題	<p>1、都合による「退会者」が5月以降に多くなる。</p> <p>2、賛助会の魅力不足または理解不足なのか検討していかねばならない。</p> <p>3、新規加入のグループの「立ち上げ」が毎年継続していかない悩みがある。</p> <p>4、既存のグループ内の高齢化が目立つ、後継者の選定に時間が掛かる。</p> <p>5、ボランティアをやっているシニア大生が多いが継続的・系統的に活動されているか把握されていない。</p>
今後の取り組み	<p>1、1~2月の講座日で「賛助会加入とグループ立ち上げ」の推進を図る。 2年生は 平成28年1月26日及び2月16日 1年生は 平成28年1月29日及び2月9日 自治会長・班長・創作実技各グループ長へ加入のお願い状を発信する。</p> <p>2、38期・39期自治会長・班長へ総会招待状を発信する。</p> <p>3、会報「まつもと」1月号をシニア大学2年生全員に届ける。</p> <p>4、シニア大学生・卒業生への支援をしっかりとするために努める。</p>

「松本地区賛助会長」の発表と提供された資料からの「ここぞ」と思う点を挙げてみると。

- ① 「松本支部」と「松本地区賛助会」は一体であり、賛助会長（グループ長）が毎月シニア大生に直接呼びかけることが「常態化」しており、これが会員増に最大の効果を挙げていると思われる。
- ② 賛助会報「まつもと」をシニア大生に毎回届けている。(大北支部も同じ)
- ③ 総会等に、地区の「自治会長」や関係者を招待して課題の共有に努めている。
- ④ 1月から2月に亘ってシニア大生1年・2年に「賛助会加入と立ち上げ」を2回も呼びかけている。
- ⑤ 支部と賛助会はいつも課題を共有しながら、両者一体となって、課題解決に効果を挙げている。



川柳「りんどう会」



スマイル・リフレ



押し花かすみ草



万年青の会



「さつき会」の多彩な活動 □内は荒井会長



「楽しい切り絵」(茂木前会長の挨拶は4頁にあり)

また「長野地区賛助会員の集い」では、龍虎エンジョイさんと、合同で「吟剣詩舞」を発表させて頂きました。今後も右記同様に慰問やスポーツ大会・書道のボランティア等々に支援の要請に応えて、協力をして参る所存です。どうか宜しくお願ひします。

また、「スポーツ交流会」への協力、毎月1回の「コスモス長野」へ「書道」の指導ボランティアをしています。

等で参加協力する、当会での年2回の「スポーツ交流会」への協力、毎月1回の「コスモス長野」へ「書道」の指導ボランティア・「若槻ティサービス」へ毎年1月に3～4回「書初め」の指導ボランティアをしています。

即グループ名は「さつき会」と決まり、代表者はあれよあれよという間に小生(荒井)に決められてしまった。何をどうするというグループの方向性も無いまま、龍虎エンジョイに誘われて詩吟・剣舞・踊り・書道等々で施設への慰問に行くようになりました。

また、地区のスポーツ大会への審判

未だ、よちよち歩きのグループです。当時の小林一行会長さんのお声掛けで「県長寿社会開発センター」に8名程が訳も分からぬまま集合した。協議の結果、折角これだけの人が集まつたのだから賛助会に「グループを立ち上げよう」の結論に達した。

「さつき会」の多彩な活動

会長

荒井 公

2016信州ねんりんピック交流大会（塩尻市レザンホール）スポーツ交流大会（大町運動公園）

高齢者作品展（9/30～10/2）塩尻市総合文化センターで開催。皆様の作品展示を期待します。式典・パネルディスカッション・ステージ発表は、（10/1）塩尻レザンホールで開催します。スポーツ交流大会は（9/10）大町市運動公園で、「マレットゴルフ・他」が開催されます。

シニア大生への「長野地区賛助会入会説明会」（11月1日（火）&2日（水））

会場は 長野県社会福祉総合センター 各グループ長はステージでの「1分間スピーチ」に出場し、自分たちのグループ活動の紹介に併せて会員増に向けたPRを是非お願いします。

最大のイベント「長野地区賛助会員の集い」（10月21日）会場 県社会福祉総合センター。

長野地区賛助会「最大のイベント」です。素晴らしい「展示会・体験・ステージ発表・ビデオ放映」になるように、今から準備を計画的に進め、多くの入会者獲得にも頑張りましょう。

「楽しい切り絵」21年間・想い出に感謝

「楽しい切り絵」前会長 茂木利治

県指導者養成講座の仲間とワイワイ楽しやろうではないかと、「楽しい切り絵」グループを立ち上げてから21年経ちました。

当時は現在のサロンに長野支部事務局が

入っており、我々は「栗田公民館」ロビーを

借りての活動でした。想い出の活動として

は、県下賛助会員80名による洋上セミナーと

銘打った2泊3日の北海道旅行でのフェリ

ー船上セミナー、帰りは千歳からの飛行機、

悪天候で松本では降りられず名古屋で。また

兵庫の老人大学が卒業旅行で「善光寺」へ來

るというので、我がグループでは「県身障者

リハビリのお手伝いとして「切り絵」で効果

を挙げていること」を発表しました。また、

秋田県の社会部長さんからリハビリの方法

や成果を問われたことが印象に残っています。北信支部・大北支部との交流会や上小支

部へ「切り絵」の出前講座・ねんりんピック

での体験発表など、楽しい想い出となりました。感謝申し上げます。

新年度より、会長職を女性の和田さんと交代しました。21年間有難うございました。

編集あとがき

☆平成28年度長野地区賛助会長に五十嵐立男氏の続投が幹事会で決まり、総会の承認を得つのみとなつた。改めて気持ちを引き締めて平成28年度を魅力ある賛助会として頑張らなくてならない。

☆5月11日は「定期総会」各グループ3人以上の出席をお願いしたい。「数は力なり」盛り上げましょう。

☆2面に松本地區賛助会の取り組みを紹介した。支部と地区賛助会が一体となって、賛助会長が毎月シニア大生に直接呼びかけた、大きな成果に注目して頂きたい。

☆支部と賛助会は常に課題を共有しながら、両者が一体となり、問題点の解決に効果を挙げた結果が松本地區賛助会員実数555人、グループは46対する長野地区は会員実数292人、グループ数は24と至つて低調です。

☆我が「長野地区賛助会」最大の課題は「賛助会員増」で、頑張りましょう（峯村）